

第 71 回 宮崎県保育事業研究大会開催要綱

● 大会主題 ●

「すべての子どもの権利と育ちを

保障していく社会の実現」をめざして

1. 趣 旨

令和 5 年度、「こども家庭庁」が創設されるとともに、「こども基本法」に基づく「こども大綱」が策定されました。また、令和 6 年 4 月には改正児童福祉法が施行され、保育所・認定こども園等が地域において相談支援機能を発揮すること、いわゆる「かかりつけ相談機関」としての役割が求められるなど、保育所（園）・認定こども園等に対する役割や期待は大きくなっています。わたしたち保育・子育て支援関係者は、子どもの安心・安全を守ることはもちろん、さまざまな保育をめぐる動向や、保育者に求められることを常に意識し、認識を深めるとともに、保育の社会的な意義・役割をあらためて確認したうえで取り組みを日々充実させなければなりません。加えて養護と教育の実践の下にこれまで培ってきた保育の営みの大切さを今一度広く社会全体にアピールする必要があります。こうした保育をめぐる情勢をふまえ、私たち保育関係者の姿勢を広く社会に発信すべく、多様なテーマでの研究協議を深め、先駆的・効果的な実践を学びあうことにより、保育・子育て支援の拡充につなげ、保育実践の一層の向上をめざし、我々も励まなければなりません。

宮崎県保育連盟連合会では、保護者や地域の福祉ニーズとともに、子どもにとっての「最善の利益」を尊重し、保育内容の研究を深め、「養護と教育の実践」の更なる向上を目指すことを目的として本大会を開催いたします。

- 2. 主 催 一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会
- 3. 後 援 宮崎県・宮崎市・社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会（予定）
- 4. 期 日 令和 7 年 3 月 4 日（火）
- 5. 会 場 シーガイアコンベンションセンター

宮崎市山崎町浜山（TEL：0985-21-1164）

6. 費用

(1) 次の費用は参加者の負担といたします。

参加費（資料代）：会員施設・3,000円、非会員施設・5,000円

養成校職員・2,000円、学生・1,000円

昼食代（お弁当・お茶付）：1,100円

※ 式典・記念講演のみ参加の場合でも参加費は同金額です。

(2) 意見発表者・助言者については参加費及び昼食代は免除します。なお、被表彰者及びその他の役員・係員については、参加費及び昼食代が必要となりますのでご留意ください。

7. 日程及び大会内容

(1) 日程

	9	10	30	11	12	13	14	15	16
3/4 (火)		受 付	式 典	記念講演	昼 食		分 科 会		

(2) 日程及び内容

9:00～10:00 受付

10:00～10:30 式典

10:30～12:00 記念講演

演題：「三味線が繋いだもの」

講師：村上由宇月氏（村上三絃道 三代目家元）

☞ プロフィール ☞

宮崎市生まれ。2歳で初舞台。三味線の他に横笛、太鼓、民謡や洋楽もこなし、幅広い活動を展開。海外での演奏も多数。ラジオのパーソナリティとしても活躍中。新たな楽曲の制作も行い、伝統の世界に新風を吹き込んでいる。スクールコンサートでは校歌やリクエスト曲の数々をアレンジし披露、好評を得ている。令和元年に村上三絃道 三代目家元を継承。

12:00～13:00 昼食

13:00～16:00 分科会

8. 分科会テーマ及び研究課題

「全国保育協議会の将来ビジョン」の構成にそって、本大会の分科会テーマを設定し、3つの分科会（九州・全国大会 第3・第4・第5分科会）と2つの特別分科会の計5つの分科会で開催します。その中の、第1分科会は九州大会へ進みます。

◆ 分科会の方法について

座長を中心に分科会のスタイルに合わせたタイムスケジュールにて開催いたします。

全保協 将来ビジョン【カテゴリーⅠ】 子どもの育ちを保障する

保育所・認定こども園等の大きな役割は、子ども自身が持つ発達する力を活用することができるよう支援し、子どもの育ちを保障することにあります。子どもの発達支援を中心に据えた保育を展開するために、質の高い保育について研究を深めます。また、研修を充実し、保育を実践する人材の育成に取り組みます。

第 1 分科会 (九州・全国大会では第 3 分科会)

保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する

保育所・認定こども園等における今日の状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化とともに働き方改革がすすめられています。職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップとともに、働きやすい職場づくりに一層留意する必要があります。

子ども・子育て支援制度施行後、多様化する利用者のニーズに対応するとともに、保育現場の魅力を発信しながら、人材の確保・育成に努めていく必要があります。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の内外の研修や情報共有のあり方、保育者の自己評価など、職員の資質向上にむけた効果的な実践と保育現場の魅力発信の取り組み、さらには保育現場に求められる働きやすく、やりがいのある職場づくりについて研究を深めます。

- 担 当 部 : 保育士部
- 意見発表者 : 宮崎市地区
- " : 日向・東臼杵地区
- 助 言 者 : 大坪 祥子 氏 (宮崎学園短期大学 保育科 教授)

全保協 将来ビジョン【カテゴリーⅡ】 子育て家庭を支える

子どもが心身ともに豊かに成長するためには、子どもと家庭を一体的に捉えて、その家庭を支援することが必要です。保育所・認定こども園等は、保育・子育て支援機能を充実し、多様化する働き方のなかで新たな子育て家庭のニーズに応え、子育て支援拠点として、すべての子育て家庭を対象とした支援を展開します。

第 2 分科会 (九州・全国大会では第 4 分科会)

地域の子育て家庭への支援の充実にむけて

保育所保育指針においては、保育所の役割として、保護者に対する支援と地域における子育て支援が明確に位置づけられています。また、新たな幼保連携型認定こども園では、子育て支援の実施が義務付けられています。

一方で地域のつながりが弱まるなか、子育てに孤立感や孤独感を深めている家庭へのアプローチが、とくに重要な取り組みとなっています。

本テーマでは、地域子育て支援における保育所・認定こども園等の機能や、保育者に求められる知識や技術を、いかに地域支援に活かしていくかなど、地域の子育て家庭に対する支援のあり方について、研究を深めます。

- 担 当 部 : 保育士部
- 意見発表者 : 都北地区（都城市）
- " : 宮崎市地区
- 助 言 者 : 松本 憲子 氏（宮崎県立看護大学 公衆衛生看護学 教授）

全保協ビジョン【カテゴリーⅢ】 多様な連携と協働をつくる

子育てで不安や児童虐待への対応等、子どもと子育て家庭への支援は、地域社会を基盤として多面的に取り組みを充実していくことが大切です。保育所・認定こども園等は、さまざまな機関・組織・団体や地域住民が連携・協働して地域の保育機能高めるための中心的存在として、役割を果たします。また、必要に応じて、社会福祉法人の法人間連携、公私や民間施設相互における事業連携をすすめます。そして、企業や非営利活動法人等との多様な連携を研究します。

第 3 分科会（九州・全国大会では第 5 分科会）

子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにむけた

関係機関とのネットワーク

子どものより良い育ちにむけ、保育所・認定こども園等、小学校さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえる視点として重要です。

また、子ども・子育て制度では各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画（都道府県においては子ども・子育て支援事業支援計画）」に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実化にむけては、社会福祉法人をはじめとする保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築もいっそう大切となります。

さらには、子どもの貧困に起因する課題への対応、児童虐待予防、病児・病後児保育、さらには災害対応など、保育所・認定こども園等単体のみならず、地域の関係各機関と連携・協働をもってすすめるべき取り組みは多くあります。

本テーマでは、子どものより良い育ちにむけた、多様な機関との連携・協働のすすめ方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて研究を深めます。

- 担 当 部 : 人権保育推進部
- 意見発表者 : 延岡市地区
- " : 県西地区
- 助 言 者 : 原田 いくみ 氏（一般社団法人ハウリング 代表）

【特別分科会（給食部）】命を守る為の食育とは

近年、保育園、認定保育園等における給食の誤嚥による痛ましい事故が続いています。また、地震や大雨などの災害、食材の高騰など、子ども達を取り巻く環境は厳しいものとなっています。安心できる給食の時間、楽しい日常を営むための食育を実践発表し、正しいマニュアルの再確認と施設内での連携を通して事故を防ぐことを学びます。

- 担 当 部 : 給食部
- 講 演 : 演題 「命を守る為の食育とは」
- 発 表 者 : 高崎 ひでみ (日南市 中央こども園)
- 講師・助言者: 高妻 瑠弥乃 氏 (宮崎学園短期大学 保育科 専任講師)

【特別分科会（園児事故処理委員会）】弁護士による危機管理研修

法の専門家である弁護士の先生より、個人情報への漏洩や、保育経営、不適切保育や虐待に至るまで保育を取り巻くリスクに対応していくため、事例をあげながら安全配慮への注意点や対応方法等について法律に基づいた内容でお話しして頂きます。

- 担 当 部 : 園児事故処理委員会
- 講 演 : 演題 「保育施設における最新の危機管理を考える
～園児の事故についてその予防と対応～」
- 講 師 : 蓼沼 一郎 氏 (蓼沼法律事務所 弁護士)

9. 参加者の範囲

- (1) 宮崎県保育連盟連合会会員施設長が次の範囲から推薦した者
 - ① 保育園（所）・認定こども園の設置者・施設長及び職員
 - ② 小規模保育所・児童館の施設長及び職員
 - ③ 保護者 等
- (2) 県・市町村の保育行政関係職員
- (3) 保育士養成校の職員及び学生 等

10. 顕 彰

顕彰は、顕彰規程に基づき、宮崎県保育連盟連合会理事長が式典において行います。各施設長は、別添推薦書を令和7年1月24日（金）までに大会事務局に提出してください。（推薦者印が必要です。郵送でお願いします。FAX 不可）
なお、表彰決定通知書は被表彰者所属施設にお送りいたしますので、ご了承ください。

11. 参加申込み

- (1) 参加申込みにあたっては、宮崎県保育連盟連合会 HP の【第 71 回宮崎県保育事業研究大会参加申込フォーム】をクリックすると、名鉄観光サービスの申込サイトに移動しますので詳細はそちらをご確認ください。

※ 役員（発表者含む）・係員においても参加申込みが必要となります。

【参加申込専用サイト】

第 71 回宮崎県保育事業研究大会参加申込専用サイト

<http://www.mwt-mice.com/events/m-hoiku71th>

※ PC・スマホよりアクセス可能です。



* 申込締切 第一次 令和 7 年 1 月 31 日（金）

第二次 令和 7 年 2 月 14 日（金）

- (2) 申込完了後に自動送信される「申込完了メール」に記載の振込先へ令和 7 年 2 月 14 日（金）までにご入金をお願いいたします。

*マイページの「お申し込み内容 (PDF)」タブより申込内容確認書をダウンロード・印刷していただき、当日受付にご提出ください。県保大会では、参加券等の発行はございません。

※ 領収書が必要な場合は、お申込の際、備考欄にご入力ください。当日お渡しします。

※ 振込手数料は、各自ご負担となりますので、ご了承ください。

- (3) 参加申込をされた方で、令和 7 年 2 月 14 日（金）以後に参加を取り消される方の参加費等については、徴収させていただきます。

なお、大会資料（冊子）を後日送付させていただきます。

- (4) 昼食希望の方は予め注文してください。なお、研修当日のキャンセル等変更はできませんのでご了承ください。（弁当：1,100 円）

弁当代について、何らかの事情で振込みができない方は当日お支払いください。

- (5) 申込変更について

参加申込専用サイトより、新規登録画面で登録したメールアドレスとパスワードを入力し、「ログイン」してください。

お申込締切日までは、システムから変更・取消を操作できます。

締切日以降の変更・取り消しは、専用サイトのお問合せフォームからの送信、または E-mail にて変更・取り消し内容をお知らせください。

お電話での変更・取り消しは、間違い防止のためお受け付けできかねます。

12. 個人情報の取り扱いについて

- 参加申込にあたりご入力いただいた個人情報は、本大会の運営・管理の目的に限って使用します。
- 本大会の申込受付等に関する業務を名鉄観光サービス株式会社に委託し、上記の目的のため情報を共有します。

13. その他

ポスター発表申込みの方は、募集要項に従って準備してください。

14. お問い合わせ先

【 研究大会の内容に関すること 】

一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会事務局（担当：長嶺・太田・原田・外前田）

〒880-0007 宮崎市原町 2-22 宮崎県福祉総合センター内

TEL：0985-28-5835（受付時間：平日 8：30 ～ 17：15）

FAX：0985-28-5989 E-mail：office@m-hoiku.or.jp

【 申込・パソコンの操作等に関すること 】

名鉄観光サービス株式会社 宮崎支店（担当：出口）

〒880-0001 宮崎市橘通西 2 丁目 4-20 アクア宮崎ビル 5 階

TEL：0985-26-1414（受付時間：平日 9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00）

FAX：0985-20-7355 E-mail：miyazaki-mice@mwt.co.jp